



学校教育目標
自分と相手を大切にし、
考えて行動する名瀬っ子

名瀬小だより

7月号

令和 8 年 6 月 30 日
横浜市立名瀬小学校
校長 宮崎 博隆

つながりの中で育つ学び

校長 宮崎 博隆

梅雨の時期に入り、雨の日が続いていますが、その合間を縫うようにしてプールからは子どもたちの元気な歓声が聞こえてくる季節となりました。水しぶきを上げながら、きらきらと楽しそうに活動する姿に、本格的な夏の訪れを感じています。

うれしいニュースがあります。本校が日頃より里山学習でお世話になっている「名瀬谷戸の会」様が、このたび環境大臣による「地域環境保全功労者表彰」を受賞されたとの報をいただきました。長年にわたり、里山の豊かな自然を守り、子どもたちの環境教育に情熱を注いでこられた活動が高く評価されたものです。本校職員一同、心よりお喜び申し上げます。

本校では、この里山をかけがえのない学びの場として、様々な教育活動を展開しています。6月は、1・2年生が里山を訪れ、2年生が1年生に声をかけたり手を引いたりしながら活動する姿が見られました。身近な自然に触れるとともに、子ども同士の関わりの中で学びが広がっていく様子を感じました。

また、19日には名瀬中学校吹奏楽部の皆さんが来校し、素晴らしい演奏を披露してくれました。迫力ある生の楽器の音色に、子どもたちは一瞬で目を輝かせ、会場全体が音楽の魔法に引き込まれていきました。「名瀬小学校校歌」の演奏では、子どもたちも力いっぱい歌声で応え、体育館は大きな一体感に包まれました。憧れの中学生の姿を目の当たりにすることは、子どもたちが「これからの自分の姿」を前向きに思い描く、最高の機会となりました。

さらに、24日には戸塚警察署のスクールサポーター田村様をお迎えし、4～6年生を対象とした防犯安全教室を実施しました。SNSなどに潜む危険性や、安全な利用の仕方について具体的なお話を伺いました。便利さの裏にあるリスクを正しく知り、「自分自身を守るためにどう考えて行動するか」を主体的に捉えることは、これからの時代を生きる子どもたちにとって、命を守る大切な学びです。

こうした一つ一つの活動は、すべて地域や関係機関の皆様の温かい支えによって成り立っています。今年度、本校が教育活動の大きな柱として掲げているのが、「名瀬の財(たから)を生かした教育」です。子どもたちの学びは、決して教室のなかだけで完結するものではありません。名瀬の豊かな自然や、多様な人との関わりの中でこそ、豊かに深まっていきます。

里山での体験、中学生との交流、地域の方々や専門家からの学び。そうした経験の積み重ねによって、子どもたちは自分が社会の中で生きていること、そして多くの人に支えられていることを実感していきます。名瀬小学校では、「名瀬で学ぶことそのものが社会とつながる学び」となるよう、これからも地域や保護者の皆様とともに歩みを進めてまいります。

さて、もうしばらくすると、夏休みが始まります。地域では様々なお祭りも予定されており、子どもたちは家庭や地域という「名瀬のまち」の中で多くの時間を過ごすことになります。学校を離れ、まちへと戻っていく名瀬っ子たちをどうぞ温かく見守り、育ていただけたますと幸いです。8月末、ひと回り大きくなった元気な子どもたちと笑顔で再会できることを心より楽しみにしています。